

向陽

〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL(088)833-4394 FAX(088)833-7373 <http://www.tosaobog.com>



1952年(昭和27年)土佐高野球部初の甲子園バッテリー
左・池上 武雄投手(28回生)、右・永野 元玄捕手

バッテリーの
今と昔.....



2016年(平成28年)センバツ大会のバッテリー
尾崎 玄唱投手(2年生)、楯 憲護捕手(3年生)



全力疾走の軌跡

— 土佐高野球部の甲子園 —

永野 元玄 (29回生)

高校野球の全国大会は2年後にセンバツが「90回」、夏は「100回」大会を迎える。この中でこれまでに母校が出場してきた、甲子園との関わりについて振り返ってみた。全国大会が始まった1915年から32年経過した1947年に加盟して69年になる。この間、センバツ大会に8度、夏の大会に4度出場している。戦歴は27戦15勝12敗である。初めにお断りであるが、これらを大会ごとに少しずつ採り上げるが、実は臨場感を以って観戦した試合は少なく、確かな内容の記述が叶わない点をご容赦願いたい。

まずは直近今年のセンバツ大会について触れてみたい。戦果は別として、出場への狭き門をくぐり抜けた母校の特性は、3年前の21世紀枠をクリアした際と同じく、選考委員と世論の期待という背景の中で好感を以って迎えられている点が特筆できる。母校ならではの品格が総合評価されていると、いつて過言でない点である。「好感」は興行的にも魅力のある「売り」である。但し、興行の肩入れをするものではないのは当然である。今春の試合は最難敵であったが、相手の力を減殺できた部分が随所に見られた。

3年前は21世紀枠で出場したが、私学から選出されたのは初めてのことであった。それまでは困難な条件下で頑張る公立校に道を拓くためとされていたが、前例を塗り変えた。

母校野球部生みの親は大嶋光次校長である。戦後すぐの夏の大会で初出場初優勝を果たした文武両道の誉れ高い湘南高校に触発されて我が校も：と起ち上げられたわけだが、早くも3年後に甲子園出場を果たし、翌年も両大会へ出た。27年初出場は、池上現理事長が主将・エース投手として四国

第24回選抜高等学校野球大会開会式
1952年(昭和27年) 甲子園初出場



甲子園初出場 (昭和27年、第5回選抜高等学校野球大会)。池上武雄主将と入場行進する土佐高ナイン (4月1日)

開会式直後の開幕試合で八尾高校に0対5の敗戦

大嶋光次校長先生



校長在任期間

1945年4月1日~1958年4月16日

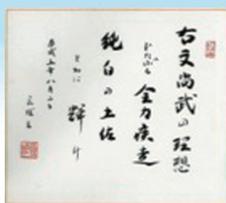
第35回全国高等学校野球選手権大会(閉会式終了後)

1953年(昭和28年)8月20日 甲子園球場にて
決勝戦 [松山高商 3 対 2 土佐高] 延長13回戦



および全国9地区大会で強豪校を次々と破つての快進撃から得た初の甲子園であった。開会式あとの開幕試合で優勝候補八尾高校との対戦は0対5の完敗であった。翌28年センバツでは2回戦敗退。しかし、初出場の夏は優勝候補を次々と破り、決勝戦へ。松山高との決勝は9回2死無走者まで1点リードしながら、筆者のフェウルチップ落球で土壇場で追いつかれ、13回に決勝点を許して敗戦。痛惜の敗戦であった。しかしながら大会を通じた健闘に対して「優勝旗のない優勝校」「今年は優勝校が2校」と称えられ、帰高後の校庭へ大阪から飛来した朝日新聞社機からメッセージが投下された。

「即ち「全力で！」という教えであると考え。合理性の面などからは異なるを唱える向きも無いではないが。しかし俯瞰してみると、全国のチームの中に「全力疾走」するチームが近年際立つて増えてきているのは、我田引水ではあるが、母校からの影響があるものと推察できる。



籠尾先生「理念」

懸念に取り組もひたむきに念は「何事にも」この精神と理念は「何事にも」この精神と理念は「何事にも」

格闘的な「全力疾走」へとリファインされてゆく。この10年後に就任された籠尾監督によって本格的な「全力疾走」へとリファインされてゆく。この10年後に就任された籠尾監督によって本格的な「全力疾走」へとリファインされてゆく。

籠尾監督

溝淵監督



1966年(昭和41年)甲子園球場にて

第38回選抜高等学校野球大会決勝戦(対 中京商高戦)

0対1での惜敗も力投熱投つづく上岡投手



打の秋田中堅手とともに準備運動の原動力となった上岡投手の力感あふれるピッチング (甲子園球場)

第38回選抜高等学校野球大会決勝戦閉会式

対 中京商高戦 0対1で惜敗



さて、次の甲子園であるが、昭和39年センバツ、準決勝戦で徳島海南に0対1で惜敗、優勝する海南の尾崎投手(ジャンボ尾崎)に挑んだが、一歩届かなかった。

昭和41年センバツでは決勝戦で中京商高に0対1と涙をのんだが、上岡投手・秋田選手の大活躍で、登録可能な14名に満たない12名での見事な戦いであった。「幡多5人男」も話題を呼んだ。後年池田高校が「爽やかイレブン」と言われるが、こっちが先やせー！

夏の大会2度目は昭和42年、準々決勝戦で中京に1対2と惜敗。萩野投手の逞しい3連投は残念ながら報れなかった。純白のユニフォームと全力疾走が甲子園大会の名物的存在として全国から更に注目を集めるまでになった。

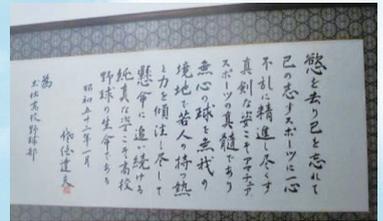
夏の大会3度目は昭和50年、8年ぶりの甲子園。3回戦で上尾高を追い上げたが、3対4で届かず。2回戦の桂高校との対戦で玉川選手が見事なサイクルヒット記録を達成した。

センバツ大会5度目は昭和51年。豊見城高・徳島商高を破って、準々決勝戦で小山高と熱戦を展開したが、逆転されて3対4で惜敗。

県大会での厳しい勝ち抜き戦で毎年苦しんでいたが、平成元年、2回戦で明德義塾高校を延長戦で下した戦力で、13年ぶりに甲子園原頭の土を踏んだ。試合は初戦で東亜学園高に0対2と残念ながら完敗を喫した。

センバツ大会6度目は平成5年。初戦東北北高との試合は、先制後逆転されるも再逆転したが、終盤にまたも逆転を許し、3対5で敗れた。

次の甲子園は20年ぶりの平成25年。冒頭にも記したが、「21世紀枠」で選出された名誉ある出場。この大会優勝した浦和学院高との対戦は0対4での



佐伯達夫元高野連会長による「球魂」(右文寮掲額)

完敗であったが、その優勝校が勝利した相手校との点差が殆ど2桁差であったのに対して母校は最少得点差だった。と慰めにも似た話題が出

没していたようだ。過去の甲子園大会出場の記事を駆け足で振り返ったが、野球留学的な異状チームが増えるなか、全く厳正な母校のような私学の台頭躍進を切に念ずる次第である。

結びに、作詞家・阿久悠さんが、平成元年母校チームが13年振りに甲子園へ姿を現した折りに、スタンドからの感想を賛歌として書き送ってくださった「白い風が吹く」を、標題に合わせる意味も込めて、締めくくりに使わせて貰った。



第88回選抜高校野球大会 2016年(平成28年)

阿久悠さんは、約30年近くに亘って「甲子園の詩(うた)」と題する「詩」を書き続けられた。

白い風が吹く

作詞 阿久悠

「土佐高は甲子園を忘れていません」と監督からのメッセージ いやいや
甲子園こそ土佐を忘れていなかった
縁ある人も無い人も
全く同じように
自分の心の中の原風景との出会いを喜んだのだ
何の飾りもない純白のユニフォームが
全速力で駆けるだけで
涙ぐみたくなるのは何だろう
純朴とか 懸命とか
真摯とか 健全とか
つい、つい 片腕に押しやってしまった言葉の数々を
大急ぎでかき集めながら
何かを再発見したのだろうか
そう
かつて少年はこのように
光の中を白い風になって走った
おごることなく おもねることなく
不必要にお道化することもなく
時代がどうであれ
流行がどうであれ
少年は少年だと
小さいからだを躍らせたことがあった
たぶんみんな
どこか懐かしく
土佐が十四年ぶりに持つて来た
小さい楽園を
見つめているのだろうか
全くいい風が吹いた
走る 走る
走ると関係なく 走る 走る
平成元年八月十二日
(スポーツサン新聞掲載「甲子園の詩」より)

甲子園での戦績

- 昭和27年春 選抜大会 土佐 0-5 八尾
- 昭和28年春 選抜大会 土佐 6-0 早稲田実業
- 昭和28年春 選抜大会 土佐 0-3 銚子商
- 昭和28年夏 選手権大会 土佐 15-3 金沢泉丘
- 昭和28年夏 選手権大会 土佐 3-0 浪華商
- 昭和28年夏 選手権大会 土佐 6-0 中京商
- 昭和28年夏 選手権大会 土佐 2-3 松山商(延長13回)
- 昭和39年春 選抜大会 土佐 7-3 浜松商(延長10回)
- 昭和41年春 選抜大会 土佐 4-3 平安
- 昭和41年春 選抜大会 土佐 0-1 徳島海南
- 昭和41年春 選抜大会 土佐 4-0 高野山
- 昭和41年春 選抜大会 土佐 10-2 室蘭工
- 昭和41年春 選抜大会 土佐 1-0 平安
- 昭和41年春 選抜大会 土佐 7-1 育英
- 昭和42年夏 選手権大会 土佐 0-1 中京商
- 昭和42年夏 選手権大会 土佐 6-3 浜松商(延長11回)
- 昭和42年夏 選手権大会 土佐 2-0 武相
- 昭和50年夏 選手権大会 土佐 1-2 中京
- 昭和50年夏 選手権大会 土佐 8-1 桂
- 昭和50年夏 選手権大会 土佐 3-4 上尾
- 昭和51年春 選抜大会 土佐 4-3 豊見城
- 昭和51年春 選抜大会 土佐 6-0 徳島商
- 昭和51年春 選抜大会 土佐 3-4 小山
- 平成元年夏 選手権大会 土佐 0-2 東亜学園
- 平成5年春 選抜大会 土佐 0-2 東亜学園
- 平成5年春 選抜大会 土佐 3-5 東北
- 平成25年春 選抜大会(21世紀枠) 土佐 0-4 浦和学院
- 平成28年春 選抜大会 土佐 0-9 大阪桐蔭

2016 ホームカミングデー

日時／平成28年8月13日(土) 12:00～

講演会

筆山ホール講演会 失敗から学んだ高校野球ライフ

元 日本高等学校野球連盟常任理事
永野 元玄 氏 (29回生)



同級生と一緒に



自身が土佐高野球部捕手として甲子園の土を踏み、高3の夏には「優勝旗のない優勝校」と称えられ、その後長期に亘り審判として高校野球に関わった永野氏の講演は、土佐高野球部の歴史・伝統にあらためて触れることが出来た貴重な80分でした。高橋愛さん(元放送部・86回生)の朗読がまた素晴らしかった。

特別授業

明るく 楽しい 保健の時間

…大人になった少年少女たちへ…

土佐中・高等学校養護教諭
西 優子 先生 (54回生)

Uターン相談会

「高知県は土佐高卒のあなたを求めている！
(かえりなんいざ)」



Uターン経験者(岡部祐政氏・70回生、森啓氏・76回生)の講演に続き、高知県事業承継人材確保センターの和田さつき氏(59回生)による講演・個別相談会が開かれました。



土佐高時代に今くらい真剣に授業を受けていたら、保健のテストはオール100点だったかな???

病名推理エンターテインメント 「ドクターTの本気で生カンファレンス」

高知大学医学部家庭医療学講座特任准教授
ドクターT：西村 真紀氏 (56回生)



現役ドクターも多数参加。鋭い質問も飛び交い、NHK「ドクターG」に出演経験のある「ドクターT」こと西村真紀氏(56回生)と回答者の医学生・研修生との間で、テレビさながらのエンターテインメントが繰り広げられました。

Road to 母校 2nd

～〇年の時を経て自慢のバイクで登校しよう！～

～表彰～

- 最年長賞 ヴィンテージ賞 遠来賞
37回生 高橋 正昭さん
- プランニュー賞 (最も年式の新しいバイク)
47回生 藤崎 昌司さんと 53回生 村田 尚亮さん
- 復活賞 (苦勞して再生させたバイク)
83回生 林 治希さん



昨年に引き続き、二度目のイベントに、遠くは京都から、最高齢は37回生、自慢のバイクと共に堂々登校！(高校時代にはこっそりやったけどね…笑)

ビッグバンド演奏



高知が誇る「TOSA SWING MAKERS」と現役ブラスバンド部員によるジャズ演奏に世代を超えてスウィングしました。

土佐校体操



常廣ゆかり先生(72回生)

「6の会」最若手の86回生と主任の常廣ゆかり先生(72回生)の音頭で、土佐校体操を全員で。新卒生(91回生)とその主任の田村欣久先生(75回生)も乱入！大いに盛り上がりました。



かえりなん いざ

「6の会」実行委員長 芝藤 敏彦(46回生)

今年のホームカミングデーのキーワードは「帰去来兮」と書いた時ふと「ホームカミングデー」を中国語に意識すると「帰去来兮」と表現出来るのかなと閃きました。「どこに帰るのか」が問われますが、卒業年度の末尾に6の付くメンバーで構成された実行委員会「6の会」では10年飛びの各年代が色々なイベントのアイデアを出し、また年齢体力による役割分担を心得て積極的に参加実行していただきました。医療系エンターテイメント、Road to 母校、現役ブラバン部員も参加したビッグバンド演奏等等。その中でも特に来年も継続して頂きたいのが、76回森君が中心になって進めてくれたUターン相談会です。「高知県は土佐高卒のあなたを求めている」という主題に46回藤戸MCが「かえりなんいざ」と陶淵明の「帰去来兮」をキャッチフレーズとして付けてくれました。

表舞台に立つ儒教の堅苦しさを笑い飛ばす老荘思想の最後を飾る詩人が陶淵明です。「帰去来兮」は漢文の田内先生の授業を思い出します。年月が経ってやっと分ってくる言葉があります。御一読下さい。

「どこに帰るのか」の問いに陶淵明は「飲酒」と題する連作の中で「此(自然)の中に真意有り 弁ぜん^{びんぜん}と欲して已に言を忘る」と書き、無為自然、言語表現出来ない道(タオ)、禅で言う不立文字を言わんとしています。

来年のホームカミングデー 2017年8月12日(土)開催予定

高知若手会の誕生!!

最近、毎月のように「高知若手会」主催の土佐高同窓生の交流会が開かれています。「高知若手会」とは、なんぞや？事務局の北川力さん（70回生）にお話を聞きしました。

Q：高知若手会とは？

A：同窓会若手学年幹事を中心とした、若手同窓生が主体となって同窓会活動を行うことを目的としたグループです。

Q：主な活動は？

A：高知県内在住同窓生対象の同窓会「先輩・後輩交流会」をはじめ、幡多地域での同窓会、職業別の同窓会、高知若手会の20代スタッフが中心となって企画する同窓会など、色々な形で同窓会を企画しながら、一人でも多くの同窓生（特に若い同窓生）が同窓会活動に関わるきっかけのひとつになればとの思いで活動をさせていただいております。
また、ホームカミングデーにおいて県外在住の同窓生が高知県内へのUターンを考えるきっかけ作りとして「Uターン相談会」を高知県と協力して開催するなどの活動も行っております。

Q：高知若手会誕生のきっかけは？

A：2008年に、参加者わずか4名の先輩・後輩の小さな交流会が始まりました。

Q：その小さな会が発展した経緯は？

A：その交流会を定期的に開催し続ける中で、参加者が少しずつ増えて、さらに母校、同窓会が協力してくれるようになり、今から4年前に、参加者が100名を超えたのを機に「先輩・後輩交流会運営委員会」が誕生しました。その後、仲間が増えたことにより、今まで出来なかった色々な趣向の同窓会を開催することができるようになりました。そして一昨年、他支部に倣い「高知若手会」と名前を変えて、内容の充実とともに、さらに仲間を増やして今の形になりました。

Q：これからの抱負は？

A：きっかけはほんの小さな出来事でしたが、その小さなきっかけを続けていく中で多くの人と機会に恵まれ、「高知若手会」は誕生しました。これからも「母校の発展」と「同窓生の親睦」を大切に、若手目線の同窓会活動を続けていきたいと思っております。

Q：高知若手会のメンバーの特徴は？

A：高知若手会の活動のほかにも、趣味や職場や地域の様々な団体・サークルを企画運営している方が沢山いて、色々な社会との関わり方のひとつとして「同窓会活動」を取り入れている方が多いです。またメンバー同士が

それぞれの活動に関わり合い、同窓会活動にとどまらない広い繋がりを持てるきっかけにもなっています。

「高知若手会」は、これまでの同窓会のスタイル（ホームや学年単位、クラブ単位、あるいは全同窓生対象）を打ち破り、下記の活動一覧表のように、地域、職域、その他の活動と、特色ある交流会をあちこちで開催しています。Facebook などでも参加者を呼びかけていますので、県外の同窓生も機会があれば、是非ご参加ください。

高知若手会事務局 senpai-kouhai@hotmail.com

2017年活動予定

- 土佐高等学校先輩・後輩交流会…5月12日(金)
- 土佐高等学校同窓会 幡多交流会
- 教職員向陽会(年2回)
- 医療向陽会(年2回)
- 土業向陽会…9月1日(金)
- Uターン相談会…8月12日(土)
- 同窓会若手幹事・若手同窓生との交流会(年数回)
- 20代スタッフによる企画
- 行政関係同窓生の交流会

土佐高等学校先輩・後輩交流会
高知県内在住同窓生主体の交流会

土佐高等学校同窓会 幡多交流会
幡多地域在住同窓生主体の交流会

教職員向陽会
教育に携わる同窓生および教育分野を志す同窓生の交流会

医療向陽会
医療に携わる同窓生および医療分野を志す同窓生の交流会

土業向陽会
「土」の付く資格・免許を持つ同窓生の交流会
「法律」、「建設」、「製造」分野に携わる同窓生の交流会

20代メンバーによる活動
独身同窓生対象の交流会「土佐高コン」の企画等

同窓会若手幹事・若手同窓生との交流
同窓会若手学年幹事、若手同窓生と高知若手会の交流会

ホームカミングデーにおける活動
「Uターン相談会」 Uターン希望同窓生に対する情報提供の機会



スタッフ集合写真(一部スタッフのみ)
後列右端 事務局の北川力さん(70回生)



「世界と学べ」

関西学院大学国際学部3年

松村あかり(89回生)

インターネットが発達し、疑問に思ったことは検索すれば答えがすぐに得られる時代です。では「疑問にも思わないこと」はどの程度でしょうか。あたかも自分の持っている答えがすべてに当てはまるように感じられるかもしれません。今の生活とは異なる環境で暮らすということは、「当然」や「当たり前」をとらえ直し、答えの範囲を広げることにつながるのではないのでしょうか。さらにそれは受け入れる側にも言えることです。私はこれを「脱皮」とよんでいます。この皮のめくれる感覚が病みつきになり、日本と外国を行き来するようになりました。

大学4年間の軸として国際協力的なを絞り、体系的なプログラムを履修したり関連するサークルに所属したりして、多角的に知識と経験の両面からアプローチしてきました。発展途上国で地域間の貧富格差を感じ、アメリカ留学では多様なバックグラウンドから発生する学びを享受しました。一方日本では東北の新しい支援を考えた時、高校生へ国際交流の機会をつくるなど、多くの人と関わりながら国内外の幅広いトピックを勉強させてもらいました。その集大成としてマレーシアの環境保護団体でマングローブ保全に関する業務を5か月間行い、クラウドファンディングでは土佐高の先生方、たくさんのOB・OGの方にも協力いただきました。

多様な民族と野生生物の中での生活は私の固定観念では戸惑うことが多く、それぞれの生き方を尊重し共存することの大切さを毎日感じることでできる貴重な機会でした。

私は「脱皮」を無意識的に求めてきたため、いわば「積極的マイノリティ」になることが多くありました。しかし社会には厳しい状況でマイノリティにならざるをえない人々がいまいます。アメリカ留学中にネイティブアメリカンに関するレポートを書きましたが、これからはそのような社会的マイノリティと呼ばれる人々についてより深く勉強し、国内外に関わらず社会全体のポトムアップに関わることをしたいと考えています。

読みのスリルとサスペンス〜深層読みで名作に迫る〜

土佐中等学校 図書部長 広井 護(48回生)



文学作品の「読み」は、「暗号解説」に似ています。書かれている言葉を手がかりにして、書かれていない内容を粘り強く推理してゆく作業です。す...
「親譲りの無鉄砲で子共の時から損ばかりして居る。」(夏目漱石「坊っちゃん」)

という有名な冒頭。この背後には重要な「裏情報」が隠されています。「親譲り」というのだから、「親」も「無鉄砲」だったと読み取れるのです。ところが、「おやしは何もせぬ男で、人の顔さえ見れば貴様は駄目だ駄目だ」と口癖のように云っていた。」という言葉がその後に出てきます。

「無鉄砲」な親が「無鉄砲」な息子に「駄目出し」をする。これはどうしてなのでしょう？
坊っちゃんは、松山の中学校で次のような啖呵をきります。「ここにヒントがあります。」

「これでも元は旗本だ。...こんな土百姓とは生まれからして違うんだ。」
父親は「元武士」だったとわかります。つまり「士族」です。しかも「没落した士族」なのです。「何もせぬ男」とは無職だということの意味しています。父親は明治維新後の資本主義社会に適応できなかった、負け組の男なので

です。自分は駄目な人間だと思っ...
「名作」と呼ばれる文学作品には、こ...
「これを読み解く過程には、スリルとサスペンスがあります。その面白さを多くの人に伝えたくて、この本を書きました。」

「名作」と呼ばれる文学作品には、こ...
「これを読み解く過程には、スリルとサスペンスがあります。その面白さを多くの人に伝えたくて、この本を書きました。」



A5版二五二ページ、二七八円(税込)。取り扱いは「南の風社」ネット通販電話での申し込み、可」と金高堂書店。(株)南の風社

☎088-8334-1488

「高崎元尚展を開催して」

香美市立美術館館長 都築 房子(42回生)



2016年4月9日から6月12日まで香美市立美術館において「高崎元尚展」誰もやらないことをやる」を開催いたしました。

高崎先生(16回生)は、現在93歳でなお現役の前衛美術家です。美術館での個展は今回が初めてでしたが、むしろそのことが不思議なくらいの作家で、日本国内はもとより国際的にも高く評価されています。

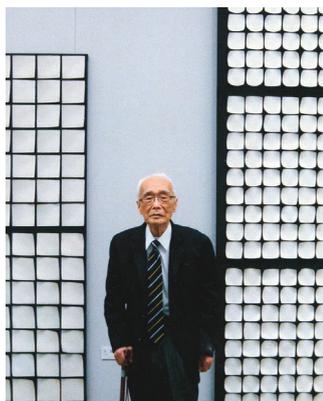
香美市立美術館では高崎先生が香美市(香北町)出身ということで、香美市合併10周年記念事業として企画し、先生の93年間の歩みを故郷の地で皆様に紹介することができました。幼少期の頃や美術を志すに至るまでの経過、戦争体験、戦後の歩みなど様々な出来事を先生自らの文章と写真、作品で見えていただく内容でした。先生は長く土佐中・高等学校に勤務していたことから多くの卒業生の方々が来館され、それぞれの思い出を作品の前で語る姿が印象的でした。1950年代の作品「朱と緑」や60年代の「装置」、70年代の「破壊」など、それぞれ在学中に出会った作品があり、それは先生との幸せな時間だったと思われま

会期中にNHKの番組「日曜美術館」のオートションで本展が紹介されたことがきっかけで、最終日には長男の高崎元宏氏(51回生)が作品「モダンジャズ」の前でジャズの演奏会を開き、美術館の展示室がコンサートホールの

ようになりました。たくさんの方々が集まってくださり、満員の展示室内で聞くジャズの演奏は素晴らしく、みんなが魅了されました。こうして大きな盛り上がりで終了した「高崎元尚展」はその時に発行された作品集に記録され、今もそのページを開くと展覧会の余韻に満たされます。

先生は近年ますます作品の評価が高まり、2013年にニューヨークのグッゲンハイム美術館で開催された回顧展「具体・素晴らしい遊び場」に出品したことで、国際的にも広く知られ、香美市立美術館にも海外のバイヤーの方が見えられたことは大きな驚きでした。

こうして好評のうちに幕を閉じた「高崎元尚展」ですが、何より先生ご自身が「番喜んでくださったことが、嬉しくありがたいことで、これからもお元気で活躍されることを願っています。」



学校近況ご報告



学校長

山本 芳夫

(40回生)

同窓生の皆様におかれては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。又、平素は母校に対し格別のご厚情ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

一、「より高いレベルでの文武両道の達成」を目指し

前年度卒業生(91回生)292名は、多くの思い出を胸に学び舎を巣立ち、全員がそれぞれの志望大学の入試に果敢にチャレンジしました。その入試成績を前年度と比較すると、現役生は、合格率と国公立や難関大学の合格者数においてほぼ同水準を保った上で、国公立医学部医学科の合格者数が増加しました。一方、既卒生は、難関大学の合格者数は若干下回りましたが、国公立医学部医学科の合格者は増加しました。これらの結果、現役生と既卒生を合計した国公立医学部医学科合格者は38名を数え大きな足跡を残すことが出来ました。詳しくは、「平成28年度入試総括」の頁をご覧ください。

一方、各クラブも各種大会で健闘をしております。その活躍振りについては「がんばる現役生！文武両道」の頁をご参照下さい。また、野球部の春の選抜大会出場に際しては、多くの同窓生の皆さんからご支援ご声援をいただきました。改めて感謝申し上げます。

そして、今後とも「高いレベルでの文武両道の

達成」を目指してまいります。

二、「ガーナ高校生の来高について

9月1日、20名のガーナ高校生が三年ぶりに来高し本校を訪れました。一行は8月下旬に来日恒例の原宿での「スパーよさこい」への参加などを経て高知入りし、本校では授業参加や部活体験を始めとした土佐中高生との交流行事に臨みました。最初は少し緊張気味の双方の生徒たちもすぐに打ち解け、友情が通い合う国際交流の場となりました。加えて、保護者のご協力による二泊のホームステイは、日本人のおもてなしの心を知る貴重な機会となり彼等にとって得難い体験になったことと思います。この行事を10年以上企画運営し日本・ガーナ両国の友好に大きな貢献をされてこられた「ガーナよさこい支援会」の皆様にご感謝申し上げます。

三、「第69回運動会など学校行事について

台風16号の影響を受け、当初予定より二日順延して9月24日(土曜)開催となった今年の運動会でしたが、当日は爽やかな秋空に恵まれ、高三生(92回生)が創意を凝らし制作した櫓が立ち並ぶ中大勢の来場者を迎え、今や初秋の風物詩となった運動会が盛大に行われました。伝統の中で練り上げられスピーディーに展開される各種競技・演目の数々とそれに直向きに取り組む生徒達の姿は、多くの観衆の感動を呼びました。そして、何よりも、協力一致でやり遂げた全土佐中高生の心に、就中、最終学年生の胸深くに、忘れがたい思い出として刻み込まれたものと思います。この日を境に、高三生はいよいよ大学受験に向け最終段階に入っております。既卒生を含め受験生全員の志望が叶うことをひたすら願うものであります。

尚、年度末に向けての主な学校行事は、11月が高一生の修学旅行、年が明けた1月が高校卒業式、2月は向陽祭、中二生のスキー研修(新潟・越後湯沢)、そして3月の中学卒業式と続きます。

四、「新世紀募金」について

新しい寄付金制度として立ち上げた「土佐高・新世紀募金」の案内パンフレットを郵送させていただきますが、早速多くの同窓生の皆様からご厚情を賜り、本当に有難うございます。現在ご検討中の皆さんにおかれましては、本制度の趣旨にご賛同賜り、ご無理の無い範囲でご協力いただければ幸甚に存じます。

向寒のみぎり、同窓生各位の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。学校近況ご報告とします。
平成28年10月9日 記



41回生代表幹事
藤田理さん

新世紀募金に41回生寄付!!

8月13日ホームカミングデー当日、41回生を代表して、代表幹事の藤田理さん、大黒英世さん、沖田道子さんが校長室を訪れ、新世紀募金に寄付しました。

● 合格の状況 ●

国立大学	現	過	計	進学
北海道大	1	1	2	2
旭川医科大		1	1	1
弘前大	1	1	1	1
東北大	2	2	2	2
筑波大	3	1	4	4
千葉大	2	1	3	3
東京大	3	1	4	4
東京医科歯科大	1	1	1	1
東京外国語大		1	1	1
東京学芸大	1	1	1	1
東京農工大	1	1	1	1
一橋大		1	1	1
東京海洋大	1	1	1	1
横浜国立大		1	1	1
新潟大	1	1	1	1
山梨大	2	2	2	2
信州大	1	1	2	2
静岡大	2	1	3	3
三重大		1	1	1
滋賀大	1	1	1	1
京大	3	3	3	3
京大工芸繊維大		1	1	1
大阪大	9	6	15	15
神戸大	10	2	12	12
奈良女子大	2	2	2	2
鳥取大		2	2	1
岡山大	14	1	15	13
広島大	2	2	4	3
徳島大	7	8	15	12
香川大	1	4	5	4
愛媛大	7	1	8	6
高知大	22	18	40	33
福岡教育大	1	1	1	1
九州大	1	1	2	2
九州工業大		1	1	1
宮崎大		1	1	1
計	102	59	161	141
昨年	99	54	153	140

公立大学	現	過	計	進学
高崎経済大	1		1	
首都大学東京	3		3	2
長岡造形大		1	1	
都留文科大学	1		1	1
岐阜薬科大	1		1	1
名古屋市立大	1	2	3	2
京都府立大	1		1	1
京都府立医科大	1		1	1
大阪市立大	2	2	4	4
大阪府立大		2	2	
兵庫県立大	1	1	2	
奈良県立医科大	1		1	1
和歌山県立医科大	1		1	1
高知県立大	5	1	6	6
高知工科大		1	1	1
計	16	13	29	19
昨年	19	9	28	23

私立大学	現	過	計	進学
酪農学園大	1		1	
東北医科薬科大	1	1	1	1
獨協医科大		1	1	
獨協大		1	1	
中央学院大	1		1	1
東京歯科大		1	1	1
青山学院大	2	4	6	3
大妻女子大	1		1	
学習院大		1	1	
北里大	1	5	6	1
杏林大		1	1	
慶應義塾大	5	10	15	9
工学院大	1		1	
國學院大	1	1	2	
国際基督教大	1	1	1	1
国士館大	1		1	1
駒澤大	2	1	3	1
実践女子大	1		1	
芝浦工業大	2	2	4	1
順天堂大	1	1	2	1
上智大		2	2	
昭和	2	1	3	3
昭和女子大	1		1	
昭和薬科大	1		1	
成蹊大	2	2	2	
成城大	2	1	3	
専修大	1		1	
多摩美術大	1		1	1
中央大	7	3	10	1
津田塾大	1	2	3	1
帝京大	2		2	1
東海大	1		1	
東京慈恵会医科大		1	1	1
東京女子大	3	1	4	1
東京女子医科大		1	1	
東京農業大	4	3	7	1
東京薬科大		1	1	1
東京理科大		6	6	1
東邦大	1		1	1
東洋大	1	6	7	
日本大	6	13	19	4
日本獣医生命科学大		1	1	1
日本女子大	3	1	4	
法政大	3	3	6	2
星薬科大		1	1	1
東京都市大	2		2	
武蔵大	1		1	1
武蔵野大	1		1	1
明治大	8	11	19	2
明治学院大	1		1	1
立教大	2	2	4	1
立正大	2		2	
早稲田大	18	5	23	10
日本赤十字看護大	1	2	3	
麻布大		2	2	
桐蔭横浜大	2		2	
フェリス学院大	1		1	

私立大学	現	過	計	進学
金沢医科大		1	1	
金沢工業大	1	1	2	1
山梨学院大	1		1	
聖隷クリストファー大	1		1	
愛知医科大		1	1	
中京大	1		1	
豊田工業大	1		1	
名古屋外国語大		6	6	
名城大		1	1	1
成安造形大	1		1	
京都外国語大		3	3	
京都産業大	8	3	11	
京都橘大		1	1	
京都薬科大	6	10	16	3
同志社大	12	18	30	8
同志社女子大	2	2	4	1
佛教大	1		1	1
立命館大	46	43	89	15
龍谷大	6	4	10	2
大阪医科大	1	2	3	
大阪大谷大	1		1	
大阪工業大		3	3	
大阪薬科大	2	6	8	
関西大	14	8	22	5
関西医科大		2	2	1
関西外国語大	1		1	1
近畿大	7	31	38	1
摂南大	1	1	2	
関西学院大	25	7	32	12
関西医療大	1		1	
甲南大	1		1	1
神戸学院大	4	3	7	1
神戸女子大	2	1	3	
神戸薬科大	5	3	8	4
神戸親和女子大		1	1	1
兵庫医科大		1	1	1
武庫川女子大	3		3	1
畿央大	1		1	
岡山理科大	2	2	4	2
就実大		1	1	1
美作大		1	1	
福山大	1		1	1
日本赤十字広島看護大	1		1	
徳島文理大	6	1	7	1
四国学院大	1		1	1
松山大	2	6	8	3
福岡大	1		1	
計	263	282	545	127
昨年	307	217	524	121

準大学・その他	現	過	計	進学
就職	1		1	
専門学校		1	1	1
国立看護大		1	1	1

平成28年度入試総括

進路部長 藤岡 優太 (58回生)



◆はじめに◆
前任の岡松先生からバトンを受けつぎ、一年半が過ぎました。改めて進路部の忙しさを実感しています。自分自身が学生だった当時は、進路部でどのような仕事をしていたか、考えたこともありませんでした。現在の進路部と昔の進路部指導部では業務内容が異なる部分も多いと思いますが、合格者数や進学率の集計などを手作業で行っていた恩師の先生方には、頭の下がる思いです。

◆91回生セナ1試験結果 志望動向と入試結果◆
今春卒業の91回生は、日頃から真面目に学習に取り組む生徒の多い学年でした。低学年から全国模試の成績も良く、好成績を最後まで維持した学年で、セナ1試験本番でもその実力を見事発揮。80名が得点率80%を超えるなど素晴らしい成績を修めました。
91回生の志望動向については、
①京大志望者が30名近く、高い目標を掲げ、頑張る生徒が多かったこと
②医学科の志望者が多かったこと
③医学科60名、薬学部31名、高3・4月の志望調査と医療系の志望者が多かったこと
が特徴的でした。例年、セナ1試験で思うような点数がとれず、志望変更を余儀なくされる生徒も多い中、セナ1での好成績もあり、91回生には初志を貫いた生徒が多かったように思います。強気の出願が多くなるとうしても合格者は伸び悩んでしましますが、91回生の国公立大合格者は118名、昨年と同数であったこととは高く評価できます。

◆入試結果◆
既卒生も含めた今春入試の大きな成果として、国公立大医学部医学科合格者数の38名、現役14名、大分大2名、現役1名、京都府立医科大1名、現役1名、岡山大2名(現役2名)、筑波大、九州大と難関医学部で頭張りみせてくれました。また、志望の多かった薬学部でも国公立大合格者数13名(現役6名)、大阪大2名(現役1名)と、医学部同様の素晴らしい成果を残してくれました。
難関国公立大についても、大阪大15名合格(現役9名)、神戸大12名合格(現役10名)、全体として堅調な成績を修めることができました。ただ、東京大・京大については合格者数が4名(現役3名)、3名(現役3名)と厳しい結果となりました。実力がありながら、あと少しの志望に届かなかった生徒の多くが来春の合格に向けて頑張っています。喜びの声が聞けるよう折り返します。
私立大については、セナ1試験での好成績もあり、受験校の数を絞り込んだ91回生の様子が見え、現役合格者数307(263)。各大学の合格者数については上表を参考にしてください。

◆入試改革について思うこと◆
教育改革の中で、次期学習指導要領とあわせて大学入試改革も進んでいます。今まで行われてきた知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力・主体性・多様性・協働性そして英語の4技能と大人世代ができなかった多くのことが子どもたちに要求されています。正直、自分自身のことでも思い返して、「期待される今の生徒たちは大変だ」と思うのは私だけでしょうか。多くを求めすぎ、本質を見失わないよう、生徒たちが落ち着いた毎日を送れることを望みます。

◆入試改革について思うこと◆
教育改革の中で、次期学習指導要領とあわせて大学入試改革も進んでいます。今まで行われてきた知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力・主体性・多様性・協働性そして英語の4技能と大人世代ができなかった多くのことが子どもたちに要求されています。正直、自分自身のことでも思い返して、「期待される今の生徒たちは大変だ」と思うのは私だけでしょうか。多くを求めすぎ、本質を見失わないよう、生徒たちが落ち着いた毎日を送れることを望みます。

全国大会に出場した運動部

*全国高校総合体育大会
【団体】女子ハンドボール部
【個人】テニス部：石津
陸上競技部：中村、池澤、西森、宮地、武政、平田
バドミントン部：長瀬、本田

*全国中学校総合体育大会
【団体】サッカー部
【個人】陸上競技部：弘瀬、松下、上平田、道中

*全国中学生弓道大会
女子団体（佐竹、泉、藤田、西村）
女子個人（佐竹）

高校県体

【団体】優勝 ハンドボール（女子、2年連続5回目）
水泳（6年連続9回目）
2位 バドミントン（男女）、バスケットボール（男子）、
テニス（男女）、登山、自転車競技
3位 弓道（男子）
【個人】優勝 陸上：男子1600mリレー（宮地・武政・池澤・中村）
バドミントン：男子シングルス（本田）、
男子ダブルス（長瀬・本田）
テニス：男子シングルス（中岡）
水泳：男子 50m自由形（徳弘）
400m自由形（高橋）
100m平泳ぎ（松岡）
400mリレー（徳弘・高橋・諏訪・東富）
400mメドレーリレー（高橋・松岡・道端・徳弘）
800mリレー（徳弘・高橋・梶原・東富）
女子100m・200mバタフライ（大塚）

全国大会に出場した文化部

【棋道部】第52回全国高校将棋選手権 高校男子団体（竹内、喜多、西田）
高校男子個人（川村）
第37回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会 中学個人（井上）
第29回全国高校将棋竜王戦（西田）
【放送部】第63回NHK杯全国放送コンテスト
朗読部門（橋本）、ラジオドキュメント部門（岩崎、中澤）、
創作ラジオドラマ部門（橋本、岡本、藤本）、テレビドキュメント部門（柿葉、手島、山本）
【映画部】第62回NHK杯全国放送コンテスト 創作テレビドラマ部門（高畑）
【軽音楽部】第40回全国高校総合文化祭 軽音楽部門（尾上、公文、岡崎）
【文芸部】第40回全国高校総合文化祭 文芸部門（山添、秋山）
【かるた同好会】第40回全国高校総合文化祭 かるた部門（有井、杉本、杉村、山村、藤原）

中学高知地区区体

【団体】優勝 水泳（男子）、ハンドボール（女子）、
陸上競技（女子）、テニス（男女）
2位 水泳（女子）
【個人】優勝 陸上：男子走り幅跳び（坂本）
400mリレー（幾井、秋田、西森、大野）
女子2年100m（松下）
200m（松下）
100mハードル（上平田）
400mリレー（弘瀬、松下、上平田、道中）
水泳：男子1年50m背泳ぎ（池内）
1年50m平泳ぎ（高橋）
女子1年50m自由形（山脇）
100m・200m平泳ぎ（山本）
200m・400m個人メドレー（谷脇）
テニス：男子シングルス（白石）

中学県体

【団体】優勝 水泳（男子、9年連続15回目）
ハンドボール（女子、3年連続3回目）
2位 サッカー、テニス（男女）、陸上競技（男女総合、男子）
テニス（女子、3年連続3回目）
3位 ハンドボール（男子）水泳（女子）
【個人】優勝 水泳：女子100m平泳ぎ（山本）
400m個人メドレー（谷脇）
テニス：女子ダブルス（杉原・中田）
陸上競技：女子2年100m（松下）
100m障害（上平田）
400mリレー（弘瀬、松下、上平田、道中）

中学四国大会

【団体】優勝 サッカー（初優勝）
弓道部（女子）



平成28年度全国中学校体育大会
第47回全国中学校サッカー大会出場



中学サッカー部顧問
岩崎 啓

1950年の創部から数えて66年目、中学サッカー部としては初めての四国大会優勝。開催校で出場した高知での全国大会に続き、2年ぶり2回目になる第47回全国中学校サッカー大会への出場でした。このチームは、新人戦、春季大会ともに優勝したものの、高知地区総体予選では5位、県大会も準優勝と思うように勝ち進めない状態でした。しかし、開き直って臨んだ四国総体では、持っている力を十二分に発揮でき、優勝という最高の結果を手にすることができました。初めての自力での全国大会出場に、生徒達の努力と成果に対する喜びと、勝負のスタートに立つことができた安堵と覚悟が今まで以上に湧いてきました。
今回の全国の舞台は富山県、大阪、石川と事前合宿をしながら富山に到着。北陸ということで涼しいかと思いきや、湿度も高く高知の方が過ごしやすいのではと感じました。すべしに3000m級の山々がある風景に、遠くまで来たんだなという感覚にもなりました。
8月20日に開会式が行われ、21日には1回戦が行われました。1回戦は北信越2位の富山県の大沢野中学校との対戦。地元中学校というところもあり、相手スタンドにあふれんばかりの応援です。しかしそれには負けじと、高知や東京等から駆け付けてくださった保護者やOBの皆さん、そしてメンバー入りできなかった部員と、こちらも引けを取らないぐらいの応援団となりました。試合当日は、日差しも強く暑い

らしい。しかし、選手は落ち着いた様子で普段と変わらないアップをし、キックオフの時間を迎えました。
試合開始から自分たちのペースで試合に入り良い雰囲気ゲームが進むも、もうひとつ波に乗り切れない展開が続きまして。そんな前半11分、敵しい判定でPKを与えてしまい1失点。しかし、選手たちは下を向くことなく気を取り直し、また自分たちのペースでのゲーム展開を取り戻しました。前半ラスト10分ではポストにはじかれるシュート、1対1を相手GKに防がれたりしたものの、次第にチャンスも作りだしてきたところで前半が終了。後半もペースを落とすことなく攻め続けながら、チャンスで決めることができずタイムアップの笛がなり、0対1で1回戦敗退となりました。
グラウンドに泣き崩れる選手たち……結果は残念なものとなりましたが、これまでの生徒たちの努力や、今後全国で勝負できるということを確認できた本場に素晴らしい大会になりました。ここまで来ることができた選手や支えて下さった保護者をはじめとする多くの方に感謝申し上げます。これから今まで以上に1日1日を大切に、選手はもちろん、自分自身も何をすべきか考え、真の文武両立を生徒たちとともに目指していきたいと思っております。



関東支部

小松健造 (56回生)

同窓生の皆様、こんにちは。今年の関東支部同窓会(六の会)の幹事代表の小松健造です。本年の関東支部同窓会は、六月四日(土)に霞が関ビル35階東海大学校友会館にて開催しました。母校から山本校長先生、楠目先生、入交先生、県から岩城副知事、同窓会本部から北村副会長、正木副幹事長、また各支部からも役員の方々に遠路、ご参加頂き、誠にありがとうございました。

今年の総会では山本校長先生から学事報告に加え、土佐の同窓生が二万人を超えたというお話がありました。続いて、西亮一さん(56回生・新潟大学理学部准教授)の「新世代天文衛星が解き明かす天の川銀河の謎」と藤田徹也さん(51回生・TBSテレビ代表取締役専務取締役)の「テレビ!?わたしとテレビの三六年をちょっとお話しします」というお二人の素晴らしい講演を皆様、興味深くお聞きしていました。

懇親会には、今年卒業された91回生(二三名)、また同窓生のご家族の方を含め、約三百名の参加がありました。ご来賓の紹介、岩城孝章高知県副知事(46回生)のご挨拶に続き、森郁夫支部長(41回生)の乾杯により宴が始まりました。

中盤では、高知でも活動されているシンガーソングライター樹奈こと



6月4日関東支部総会懇親会にて

奥田純子さん(76回生)のピアノ弾き語りで盛り上がりました。懐かしい歴史やぐらのスライドやセンバツ出場の映像がダブルスクリーンに映し出され、最後は全員で肩を組んで校歌の大合唱、エールをもって大盛況のまま閉会を迎えました。六の有志幹事全員が幅広い世代の方に楽しんで頂ける同窓会をテーマに考えた企画準備が報われたものと思います。

八十歳代の大先輩から今年の卒業生まで何百人も集まる高校の同窓会なんて聞いた事がないと、友人・知人からよく聞きます。役員の方以外にも他支部からご参加下さった同窓生も多数いらして、同窓の絆を強く感じた一日でした。皆様も機会がありましたら、ぜひ関東支部同窓会にお越し下さい。

東海支部

事務局長 瀬沼憲司 (64回生)

同窓生の皆様 こんにちは。東海支部では、例年通り5月に総会を行いました。昨年から始めました東海地方の旬の講師による講演会も継続し大変盛り上がりました。また、東海支部冬季懇親会も予定しておりますので是非全国の同窓生にもご参加いただけましたら幸いです。

さて、東海地方の今年のスポーツ界は非常に寂しい結果になってしまっています。

この原稿を書いている9月25日現在で、プロ野球では中日ドラゴンズは最下位が決定してしまい、Jリーグでは名古屋グランパスが18チーム中16位に沈んでしまっています。特に名古屋グランパスにおいてはJ2降格が現実味を帯び、名古屋グランパスのサポートをしている身としては、オリジナル10(Jリーグ開幕時の10チーム)の中でも、J2にまだまだ降格したくない3クラブ(鹿島アントラーズ・横浜Fマリノス・名古屋グランパス)の内の1つであることは大きな誇りであり、決して譲れないことであり、この危機にこそスタジアムへ足を運び自分たちの生の声で応援をしようという運動をし、なんとかJ1残留へ向け力になれるようにと頑張っているところです。「向陽」が皆さんのお手に届く頃には結果が出ているかと思えます。



講師：トヨタ自動車株式会社・トヨタホーム株式会社顧問 清水哲太氏

そんな東海地方のスポーツ界にも明るい話題があります。今話題の日本の男子プロバスケットボールリーグであるB1リーグが開幕し、東海地方からもB1リーグに名古屋ダイヤモンドドルフィンズ・三遠ネオフェニックス・シーホース三河の3クラブが参加しています。そして、2026年の夏季アジア大会が愛知県と名古屋市共同開催で行われることが、決定しました。1958年の東京、94年の広島に続き32年ぶり3度目のことです。2020年東京オリンピックと同じように開催費やスタジアム建設費などたくさん問題点も出てきますですが、それを乗り越え、スポーツを愛することができると気持ちは皆で共有できるようにしたいと思えます。

関西支部

事務局長 藤原由親 (65回生)

同窓会の皆さま、こんにちは。関西支部事務局長の藤原由親です。今年もはや11月、あつという間に年末が近づいてまいりました。時の早さに全くついていきません(笑)。この一年の振り返りも兼ね、関西支部の一年の活動をご報告します。

今年も2月に関西支部会報「なんぶう」(第36号)を発行し、1760部を関西支部会員の皆さまにお送りしました。会員数のわりに総会へのご参加が少ないのが目下の悩みのタネです。なんとかせねば、とない知恵を絞っています。

3月は何といつても高校野球センバツ大会。20年ぶりの出場で甲子園を沸かせてから3年、また甲子園に連れて行ってもらいました。しかしまあ、毎回毎回強豪とよく当たるもんです。結果は残念でしたが、今後に期待が持てる内容でした。いつか甲子園で校歌を歌えることを楽しみにしています。選手の皆さまをお疲れさまでした。そしてありがとうございます。

今年の関西支部総会は4月9日に帝国ホテル大阪にて開催しました。帝国ホテルでの開催は初の試みでしたが、53名の皆さまにご参加いただきました。関西支部恒例(?)のスピード総会のお知らせは怒涛の懇親会に突入し、2次会まで多数の皆さまにご参加いただきました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございます。個人的には母校の入



関西支部総会にて。右下が入交一夫先生(53回生)、左下が筆者

交一夫先生が高知からわざわざご参加下さり、とても嬉しく思いました。以前からお声がけさせていただいていたのですが、ホンマに来ていただけたらと...。本当に感謝です。

その後は同窓会本部、各支部の総会に、原田和人幹事長(56回生)はじめ各幹事が参加させていただきました。各支部の皆さま、楽しい時間をありがとうございました。

●来年度の関西支部総会

平成29年4月15日(土)

太閤園(明治43年築造)にて

来年度の関西支部総会は平成29年4月15日(土)に大阪の太閤園にて開催いたします。太閤園の築造は明治43年頃まで遡り、その格調高い庭園と建物は大正ロマンを今に伝えています。平成20年のサミット財務大臣会合の晩餐会場にも選ばれた高級宴会会場です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

広島支部

会計監査 中野理和子 (52回生)

昨年の広島は被爆七十年を迎え、戦争、原爆、復興、被爆者など幾つかのキーワードがあり一つ一つ事実に向き合う一年でした。我々広島支部も40回生の西村繁男氏を講師に迎え「絵で読む広島」の原爆のあんな話こんな話と題してご講演頂きました。西村氏は実際に広島に住んで絵を描かれ、那須正幹氏の記事と共にこの絵本を仕上げられたとの事でした。

今まで不勉強にもこの絵本の存在を知らなかったので実際に手に取り、緻密に細部まで描かれた内容はいん印象深く心に残りました。西村氏の言われた「運命的な人との出会い」という言葉も深く考えさせられるものでした。広島に住んでいると被爆者の方々には身近な方々です。段々と年齢を重ね語り部の方々も少なくなっています。去年は節目の年という事でクローズアップされましたが本来は日々皆が忘れず心に残していく事なのだと思います。

さて今年の広島は真っ赤です。この原稿を書いている今、カープはセントラルリーグに優勝し街中全て真っ赤です。(本当です)。そこかしこにカープのユニフォームを着た人々が溢れCS、日本シリーズに向けて熱く燃えております。ローカルTVは優勝シーンを何十回となく放送し、優勝した時の広島地域の視聴率は70%前後だったそうです。広島市民のカープ愛は半端なく、にわかファンの私も含め

とマツダスタジアムに通いました。土着の広島市民とは少し距離を感じますが(熱さに遠慮しています)他の広島支部の方々はどうだったでしょうか。

●広島支部総会 11月26日開催

村木厚子氏(49回生)講演



今年の広島支部総会は十一月二十六日に開かれます。日本シリーズ優勝(?)の熱も大分冷めていると思います(笑)。今年の講師は49回生の村木厚子氏です。皆様ご存知の方ですが、高知大学より労働省へ入局され厚生労働省四人目の女性局長となり、二〇一三年厚生労働事務次官を務められ二〇一五年退官、現在大阪大学男女協働推進センター 招聘教授、高知大学地域協働学部客員教授、伊藤忠商事社外取締役として活躍されておられます。華々しいキャリアはもちろんですが、何より虚偽公文書作成同行使容疑での逮捕・拘留、その後の無罪確定、そして厚生労働大臣官房付への復職という一連の事件は世間一般の方々も、ましてや土佐同窓の我々が驚き、怒り、呆れたものでした。恐らく淡々とこの経緯も語って頂ける事と思います。

毎年才能溢れる個性豊かな講師の方々の話を聞く事ができて本当に楽しみな総会となっております。他支部も同様と思われませんが、なかなか新しい会員参加が難しくなっております。広島支部でも広島大学生に声掛けしたり今まで以上に魅力ある講演を企画していく予定です。是非御参加下さい。

香川支部

幹事長 上池裕 (50回生)

同窓会の皆様、こんにちは。香川支部幹事長の上池です。

今年の第21回香川支部総会は、7月2日に例年通りJ.R.高松駅前の高松シンボルタワーで盛大に開催されました。ご来賓として、山本学校長をはじめ同窓会本部から横田副会長、矢野副幹事長、さらに各支部からは、溝淵顧問(関東)、前田支部長(東海)、岡田幹事(関西)、山崎幹事(広島)をお迎えし、瀬戸内海に浮かぶ島々と屋島の景色を眺めながら、年に一度の楽しいひと時を過ごすことができました。

総会後の懇親会では、いつものように土佐の地酒を片手に歩き回りながら、中高時代の昔話や近況報告等、で大いに盛り上がりました。最後は、肩を組んでの校歌斉唱、大黒支部長による応援エールでお開きとなりました。

さて、香川県と言えば「うどん県」として有名ですが、最近では「アート県」としてもその認知度を増してきています。東山魁夷せとうち美術館、猪熊弦一郎現代美術館、イサムノグチ庭園美術館等の有名芸術家の美術館や直島の地中美術館、ベネッセハウスミュージアム、更に栗林公園、中津万象園等の名庭園が県内各所に点在しています。

また、今年は第3回目となる「瀬戸内国際芸術祭2016」が開催されました。「瀬戸内国際芸術祭」は3年に1回開催されており、瀬戸内海の12の島々と高松港・宇野港周辺を舞台にした現代アートの国際芸術祭です。今年は、春、夏、秋の3会期に総計108日間実施されました。「海の復権」をテーマに、世界34の国と地域から220組以上のアーティストが集まり、240を超える作品の展示およびイベントがありました。リピーターも多く、来場者は県内外から100万人に達しています。



香川支部総会(平成28年7月2日)右から3人目・筆者

「瀬戸内国際芸術祭」の次回開催は、3年後となる予定ですが、ぜひ機会があれば、アートを楽しみながらの癒しの旅にお越しください。

北海道支部

事務局長 山本隆昭 (53回生)

北海道は今:

今年の北海道は台風の当たり年でした。8月17日の台風7号を皮切りに一週間に3個の台風が北海道に上陸しました。1年間に台風が3個上陸したのも観測史上初めてのことです。これに北海道をかすめていった台風10号の大雨の影響も加わって、北海道に大きな爪痕を残してしまいました。台風の間にも前線の影響で局地的に大雨となったところもあり、被害を受けた畑の面積は、ある統計によると高知県の全畑の面積の3.5倍に当たるそうです。タマネギ、ジャガイモ、ピートなどが全滅した畑もあり、土砂が大量に流入したところでは、来年以降農業を続けられるか分からないような状況だそうです。また交通機関も大きなダメージを受け、一時は札幌発の特急は札幌―旭川間と札幌―室蘭間のみになりました。道東への交通はJRが運休している上に主要道路も通行止めになり、その時は札幌から帯広(約200km)に行くのに車でしか行けず、さらに車でも襟裳岬を回るか旭川―上川―留辺蘂―足寄経由で行くしかない状態になっていました。いずれにしても150〜200kmほど遠回りになります。JRでは、今でも帯広、釧路行きの特急は運休しており、一日3便途中をバスで代行運転しながら釧路までの運行となっています。9月初めに千歳から道東の中標津(写真左)に飛行機で行ったのですが、ほとんどの川が

まだ茶色に濁っており、唯一釧路川の屈斜路湖から弟子屈(写真右)の間だけ通常の川の色でした。河川の氾濫による家屋の浸水被害や農作物への影響他に水産業にも被害が出ており、被害に遭われた皆様が一瞬も早く復興することを願っております。



本文中にもある弟子屈の写真で、上流の本流が釧路川、左から流れるのが支流の釧路川、右から流れるのが屈斜路川です。



中標津の酪農地帯です。有林の防風帯を観望するのには、右側の展望台が最適です。

この1年間の北海道支部の活動で主なものは、例年秋に開催している支部総会ですが、2015年度は10月3日にロイトン札幌で開催しました。この支部総会については昨年の向陽で報告したとおりです。今年度は10月22日に予定しておりますので来年の向陽で報告できると思います。その他の活動としてはこのような支部報告です。

最後になりますが、今後も北海道支部を宜しく願います。機会がありましたら北海道支部総会にもご出席ください。心よりお待ちしております。また、転勤、進学などで北海道にいらつしやる方がおりましたら是非北海道支部まで連絡して下さい。本部を通してでもかまいませんので、ぜひご挨拶をお願いします。

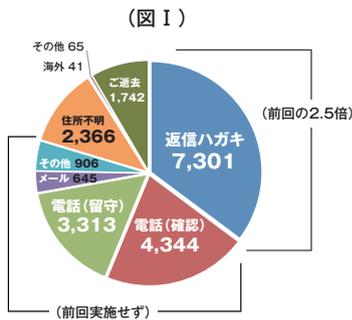
2015会員名簿調査報告

創立95周年記念2015会員名簿作成委員会

昨年11月、5年ごとに発行している2015会員名簿の発行に際しては、同窓生の皆様には多大なご協力を頂き深謝致します。この5年間に1,500名の新しい会員が加わり、同窓生は2万名を超えるまでに発展してきました。

前回までは、同窓会の常任役員を中心に構成する「名簿作成委員会」のメンバーが、印刷・製本以外の作業を手担当で、時間と体力を出し合って取り組んできましたが、より精度の高い名簿を目指し、今回は、全国の多くの学校で実績のある専門業者・小野高速印刷㈱に、ほぼ全ての業務を委託しました。初めてのことで、成り行きを注視してきましたが、精度が高まるとともに、名簿をご希望の会員が増加するという上々の結果が生じました。

調査ハガキの返信は、前回2010年は2,900名足らずでしたが、今回は7,301名と2.5倍に増えました。今までの調査はこれで終わりでしたが、今回は、返信ハガキのみならず、電話やメールその他色々な調査を小野高速印刷㈱が行いました。電話調査7,657名のうち確認がとれたのが4,344名。残り3,313名は3回掛けても留守のため本人とは話せていませんが、調査ハガキは届いた会員です。また、今回の調査でご逝去の会員が133名あらたに判明し、1,742名となりました。今回の調査によっても住所が判明しなかった会員は2,366名。しかしながら、2万名を超す会員のうち、約9割の同窓生の情報が確認されたことは、かなり精度が高まったのではないかと思います。



調査後状況(表2)

調査後状況	人数
住所不明	2,366
ご逝去	1,742
海外在住	41
その他	65
合計	4,214

名簿協力金を振込んでくれた会員は、2016年3月末時点で3,976名。前回の同時期2,765名の1.5倍、実に4人に1人の会員が協力してくれました。これは全国でも稀にみる多い数だそうですが、また協賛広告件数は前回394件に対して296件となっており、厳しい経済情勢の中、協賛広告をして下さった多くの同窓生、企業に対し、衷心より感謝申し上げる次第です。本当に有難うございました。

申込み実績(表3)

名簿協力件数	前回	2,765
〃	今回	3,976
(2016.3月末現在)		
広告協賛件数	前回	394
〃	今回	296

【同窓会名簿取り扱いについて】

1. 業者等には**絶対に販売しない**でください。
2. 廃棄する時は、シュレッダー等で**確実な処理**を行ってください。(学校に送っていただければ、責任を持って廃棄処分致します。送料：自己負担)
3. 疑わしい電話などあれば、**直ちに同窓会本部までご連絡**ください。(088-833-4394)

誠に遺憾ながら、心ない同窓生によって2015会員名簿が名簿業者に売られ、それを買った不動産業者から会員に電話が掛かるという報告が何件ありました。同窓会に対し、お叱り、ご心配、今後の対策強化についての提言等々頂き、有難うございました。発行に際しては、同窓会もあらゆる防御策を講じておりますが、この事態を真摯に受け止め、役員一同で協議して参ります。

同窓会本部では、会員情報は徹底して管理しております。同窓会の発展、同窓生同士の交流に欠かせない会員情報は同窓会の命綱と言っても過言ではありません。メールやSNSの発達に伴い、特に若い会員は、同窓会に住所や勤務先変更、結婚等による改姓を届ける習慣がないようですが、同窓会は、同窓会からのお知らせや情報を、すべての会員に発信すること、確実に会員一人おひとりにお届けすることが重要と考えております。

会員情報変更は、**土佐中・高等学校HP**(<http://www.tosao bog.com/>)の**会員情報変更パナー**からお知らせ頂くことを切に願っております。今後とも同窓会発展にご協力を宜しくお願い致します。

編集後記

たくさんの方々の協力を得て、「向陽17号」ができました。

巻頭記事は、永野元玄さんに執筆いただきました。野球部が選抜大会に23年ぶりの自力出場を果たしたのを機に、これまでの戦いを振り返ってもらおうという趣旨からです。

今号にはほかにも、初の四国大会優勝を成し遂げた中学サッカー部の奮戦記、93歳の今も創作意欲にあふれた高崎元尚先生の個展開催など、元気がもらえる記事満載です。ぜひお読みください。

正木 宏明 (52回生)

母校 / 同窓会本部 / 各支部

土佐中学・高等学校 事務 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10
(TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosao.ed.jp (HP) <http://www.tosao.ed.jp/index.html>
土佐中学・高等学校同窓会本部 会計幹事 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10
(TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosao.ed.jp (HP) <http://www.tosao bog.com/>
同窓会北海道支部 事務局長 山本隆昭 〒001-0018 札幌市北区北18条5丁目 ARTE 88-305
(TEL) 011-756-2817 (FAX) 011-756-2817 (E-mail) yamat@den.hokudai.ac.jp
同窓会関東支部 事務局長 二宮潔 〒100-8222 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング森・濱田松本法律事務所 弁護士市川直介 気付
(TEL) 03-5223-7719 (FAX) 03-5223-7619 (E-mail) naosuke.ichikawa@mhmjapan.com (HP) <http://www.tosako-kanto.org/>
(E-mail) kininomiya@ykh.chiyoda.co.jp / ninomiya@iris.ocn.ne.jp
同窓会東海支部 事務局長 瀬沼憲司 〒455-0064 名古屋市港区本宮町6-7-5 フォレスト本宮201
(TEL) 052-837-5834 (FAX) ナシ (E-mail) knzss@kza.biglobe.ne.jp (HP) <http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/>
同窓会関西支部 事務局長 藤原由規 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-17-14 江坂吉川ビル5F 税理士法人アクセス 気付
(TEL) 080-9166-2400 (FAX) 06-6110-5419 (E-mail) y-fujiwara@act-cess.jp
同窓会広島支部 事務局長 大谷準一 〒734-0007 広島県広島市南区皆実町6-3-26-902
(TEL) 082-253-5759 (FAX) 082-254-7523 (E-mail) spat56z9@vesta.ocn.ne.jp (HP) <http://www.geocities.jp/hiroshimashibu/>
同窓会香川支部 事務局長 野村善久 (担当=福原俊介) 〒760-8573 高松市丸の内2番5号 四国電力(株)
(TEL) 090-7780-3722 (FAX) ナシ (E-mail) fukuhara14443@yonden.co.jp